

## GPW 奨学生報告書 2020 年度前期

平素よりお世話になっております。NPO 法人アクションの山本です。

2020 年度は 4 名の奨学生に対して支援を実施しました。今年度は新型コロナウイルスにより、奨学生の学習環境や生活環境に大きな影響を受けました。当会の担当スタッフが家庭訪問の実施や連絡を取りながら、奨学生の様子をモニタリングしています。早速ですが、それぞれのこども達の状況と様子を下記の通りご報告させていただきます。

### 【フィリピンの新型コロナウイルスの状況と今年度の授業体制について】

フィリピンでは新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するために、2020 年 3 月半ばにルソン島全域でロックダウン（都市封鎖）が実施されました。このロックダウンは 6 月まで続き、行政区間の移動や市民の外出、公共交通機関の運行、店舗の営業が大幅に制限されました。6 月以降は段階的にコミュニティ隔離政策の規制が緩和されていきましたが、子どもの外出は 12 月現在も依然として禁止（10 月までは 21 歳未満の外出が禁止、10 月からは 15 歳未満が外出禁止）されています。

これに伴い、今年度の学校の新学期の開始時期も延期されました。例年であれば、6 月が新学期の開始となるのですが、今年度は最終的に、私立学校などの一部の学校で 8 月 24 日に、公立学校及び私立学校の一部で 10 月 5 日に新学期の授業が開始となりました。

また、今年度の授業形態も、新型コロナウイルスの影響を受け、大幅に変更されています。今年度は学校での対面の授業は禁止されているため、自宅学習用教材(モジュール)とオンライン授業を用いた遠隔での授業実施となりました。学校再開の見込みが立った時点で、フィリピン教育省は、今年度の授業は下記の 3 つの方法で実施されるという発表をしていました。

- ①オンライン(zoom)などを使用しての授業実施
- ②自宅学習用教材(モジュール)を使用しての授業実施
- ③テレビやラジオを使用しての授業実施

※上記 3 つの組み合わせも可能

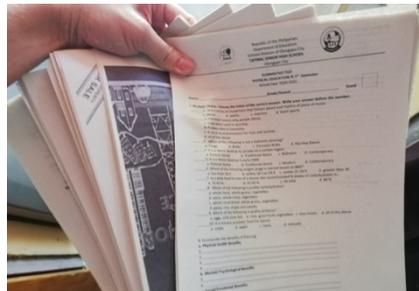
しかしながら、実際には、すべての学校で上記の方法が統一されているわけではなく、ある学校では自宅学習用教材と並行してオンライン授業が実施されており、ある学校では自宅学習用教材とオンライン授業の併用が認められておらず、生徒が自宅学習用教材だけを用いて授業を受けるかオンライン授業だけに参加するのどちらかひとつだけを選択しないといけないというケースがあり、またある学校では地域のインターネット環境の理由によりオンライン授業は全く実施されておらず、全校生徒に対して自宅学習用教材のみで授業が実施されているというようなケースがあるなど、学校別で対応が異なっているというのが現実となっています。

更に、オンライン授業に参加するために必要な費用(タブレットやパソコン、スマートフォンの購入費やインターネット代)は各家庭の負担となっており、貧困家庭やコロナ禍の状況で経済的に打撃を受けている家庭にとっては非常にアクセスがづらいものとなっています。

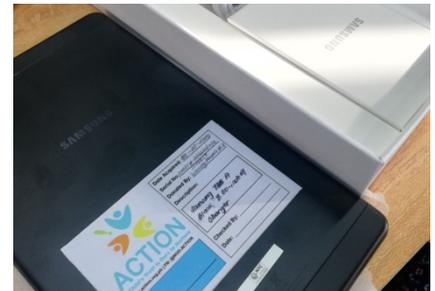
このような状況を受け、奨学生がコロナ禍でもしっかりと学業に励むことのできる環境を整えるため、オンライン授業に参加するためのタブレットの配布とインターネット代の補助を、今年度の支援として実施しています。



モジュール受け取りの様子



家庭用学習教材(モジュール)



奨学生に配布したタブレット

### 【奨学生の様子】

#### ①Balanquit, Reymon P. (12年生)

今年度、レイモンは義務教育課程の最終学年である12年生で学業に励んでいます。レイモンは今年度私立の高校に通っているため(\*フィリピンでは高校の数が不足しており、その問題解決のため、政府が、公立の中学校から私立の高校に移った生徒に対して公立学校と同じく授業料を無料とする政策を実施している。)、今年度の新学期は8月24日に開始となりました。レイモンの通う学校ではオンライン授業のみで今年度の授業は実施されています。



タブレット配布の様子

月曜日～金曜日のスケジュールでオンライン授業は実施され、ひとつの週にひとつの科目のみを集中的に講義をしているとのことです。期末試験などは実施されず、オンライン授業の取り組みのみで成績が評価され、卒業の可否が決まるとのことです。レイモンは慣れないオンライン授業ということもあり、最初はタブレットやアプリの使い方が分からず困ったりしたとのこと。また、インターネット環境により時々ネットにアクセスがづらい時があるとのこと。授業自体の内容に関しては、リサーチの授業が難しいとのことですが、特に大きな問題も直面せずに授業を受けることができているとのこと。

週末は近所の友達と遊んだりしており、現在の状況に対して特に大きなストレスを抱えてはいないとのこと。しかし、レイモンの母親は、レイモンが友達と遊ぶことに対して、新型コロナウイルスに感染するリスクが高まるのではないかと少し心配しているとのこと。現時点では、レイ

モンもその家族からも感染者は出ておらず、元気に過ごしています。ロックダウン中は、貧困家庭が受けることのできる政府からの給付金を受け取り、それにより生活はできていたとのことでした。

レイモンは今年度で義務教育を卒業予定となっています。卒業後の計画としては、進学ではなく就職を希望しており、メイクアップ関連の仕事に就きたいとのことでした。

## ②Bautista, QM D. (12年生)

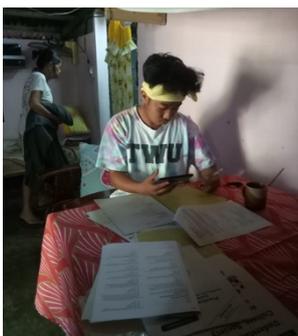
QM もレイモンと同じく義務教育最終学年の12年生となりました。QM は10月5日に今年度の新学期をスタートさせました。QM の通う学校は、オンライン授業か自宅学習用教材(モジュール)のどちらかひとつを選択し、選択した方法でしか授業を受けることができないとのことでした。QM は時間の調整がしやすいモジュールでの授業を選択したとのことでした。これにより、現在QM はアルバイトをしながら学業を頑張っているとのことでした。



家庭訪問の様子

日中は飲料水を運ぶ仕事や建設系(工事)の仕事で働いており、夕方から夜間にかけてモジュールをするという1日のスケジュールで毎日を過ごしているとのことでした。SNS やモバイルゲームをすることもなく、仕事と勉強でほとんどの時間を過ごしているとのことでした。多いときには週7日アルバイトをすることもあるとのことでした。本奨学支援で配布したタブレットは、モジュールで分からない問題に出会ったときに、リサーチをするために使用しているとのことでした。ロックダウン中は父親やお姉さんたちが休業しなければいけないという状況になったりもしましたが、現在は復職したとのことでした。QM も自分のアルバイトで稼いだ収入を家族のサポートのために使用しているとのことでした。

授業もアルバイトもない休日は、最近の趣味となっているサイクリングをして過ごしているとのことでした。アルバイトで稼いだお金の一部を貯金しており、その貯金を使って自分でクロスバイクと備品を購入したとのことでした。クロスバイクで田舎の教会を訪れるなど、ストレスもなく充実した休日を過ごすことができているとのことでした。



配布したタブレットを使用して自宅学習に取り組む様子

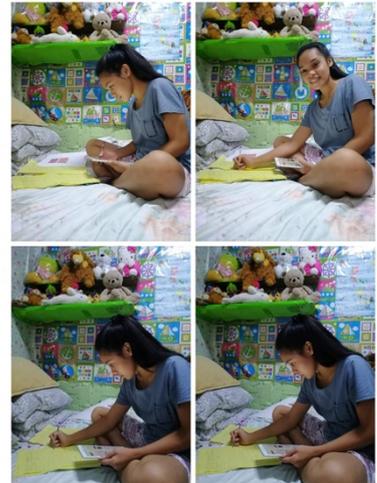


趣味のサイクリング  
アルバイトで稼いだお金で購入した自転車と装備

QM は今年度で高校を卒業予定となっています。卒業後の計画としては、進学を希望しているとのことでした。電気工事士のような仕事に就きたいと思っており、そのための技術や知識を学ぶために進学を考えているとのことでした。国の機関である TESDA(職業訓練庁)が発行する電気設備の設置とメンテナンスに関わる資格もすでに取得することができたそうです。

### ③Caranzo, Cristy B. (12 年生)

クリスティも最終学年の 12 年生となりました。クリスティは公立高校に通っているため 10 月 5 日に新学期が始まりました。クリスティの通う学校では家庭学習用教材(モジュール)とオンライン授業を併用しながら授業が実施されています。モジュールは週毎の配布となっており、クリスティの母親が学校に訪問し、モジュールの提出と翌週分のモジュールを受け取ります。10 月以降、外出規制が緩和され 15 歳以上は外出可能となったので、クリスティ自身がモジュールを受け取りに学校に行くこともあるそうです。オンライン授業では、授業の講義というよりは、主にディスカッションやモジュールの内容に関する質問と説明の場として使用されているとのこと。クリスティは、昼間は騒がしくて集中しづらいため、比較的静かになる夜にモジュールをすることが多いとのこと。1 週



配布したタブレットを使用して自宅学習に取り組む様子

間分のモジュールを早めに仕上げてしまうこともあり、余ってしまった日は答えの確認や間違いの見直しを行うとのこと。また、モジュールで勉強している妹たちに勉強を教えてあげてもいるそうです。授業のない休日は、詩を書いたりして過ごしているとのこと。クリスティは非常に真面目で、このような状況でも非常に勉強を頑張っていると彼女の母親もクリスティの勉強に対する取り組みを非常に高く評価しています。卒業後の進路に関しては、まだ決めることができず、迷っているとのこと。卒業までに、自分のやりたいことや将来の目標を決めて、それに向けて進路を考えるようにしたいと言っています。



家族との写真

### ④Velasco, Aris (11 年生)

アリスは昨年度、中等教育前期過程を修了したので、今年度は中等教育後期過程(日本の高校に相当)で勉強を頑張っています。アリスの通う学校は私立の高校のため、8 月 24 日に授業が開始されました。アリスの通う学校では、オンライン授業と自宅学習用教材を併用して授業が進められているとのこと。アリスも QM と同様に家計を助けるためにアルバイトをしながら、学業に励んでいるとのこと。平日の午前にはオンライン授業と自宅学習用教材による勉強を行い、午後からはハードウェアストアの荷物の積み出しのアルバイトをし



家庭訪問の様子

ているとのこと。アリスの家では、現在、家屋の補強と修理を行っており、休日にはアリスもお手伝いをしているとのこと。



タブレット配布の様子

今年度は期末試験がないため、学校の成績はモジュールの取り組みとビデオ課題(\*先生から与えられた課題をビデオ撮影し、それを提出する。)の提出で評価されるとのこと。アルバイトをしながらも、進級ができるように学業も怠らずに頑張っており、進級ができるとのことです。

最後になりましたが、2020年度も子ども達への温かなご支援を賜はり、誠にありがとうございます。今年度は新型コロナウイルスの影響で学習環境や生活環境が大幅に変わり、奨学生やその家族にとっても非常に困難な年となっていますが、奨学生たちが意欲的に学業に取り組むことができるよう、担当スタッフとともに尽力していきたいと考えています。今後も引き続き、温かい目で見守っていただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

報告者：山本 浩平（フィリピン事務局）

2020年1月8日